

# 京都スタジアム（仮称）を核とした まちづくりへの支援について

【担当省庁：内閣府】

京都府と亀岡市は、京都スタジアム（仮称）の整備を契機として、民間事業者がスポーツ・観光を軸とした各種の地域経済牽引事業を展開し、観光客の増加、滞在時間の延長により観光消費額を増大させ、スポーツ・観光関連産業の成長を図ることとしている。

昨年9月に同意を得た「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律（地域未来投資促進法）」の基本計画に基づく、「京都スタジアム（仮称）を交流拠点としたスポーツ・観光のまちづくり事業」について、地方創生推進交付金において採択していただきたい。

京都府 の担当課	文化スポーツ部 スポーツ振興課 (075-414-4252) スポーツ施設整備課 (075-414-4284)
-------------	--

## ■ 京都スタジアム（仮称）の概要

所在地	京都府亀岡市追分町	アクセス	JR京都駅→亀岡駅約20分
土地所有者	京都府・亀岡市共有（一部亀岡市）	建物所有者	京都府
敷地面積	約33,000㎡	延床面積	約33,000㎡
想定使用チーム	京都サンガFC等	観客席数	約21,500席
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業ゾーン 約1,800㎡</li> <li>・クライミングウォール 約1,000㎡</li> </ul>		
財源／金額	・大規模スポーツ施設整備助成（スポーツ振興くじ助成）／30億円		

<完成イメージ>  
平成32春  
供用開始予定



## ■ 未来投資戦略2018（平成30年6月15日閣議決定）

- ▶ 観光資源の魅力を高め、地方創生の礎に
  - ・ナイトタイム等の有効活用、観戦型スポーツ等のインバウンド対応、ビーチの活用促進等により、新たな体験型コンテンツの開発に取り組むとともに、プロジェクトンマッピングの円滑な実施環境の整備や公共空間の柔軟な活用、興行場等に係る建築規制の合理化やエンターテインメント鑑賞機会の拡大、VR・ARなどの最新技術の活用等を進める。
- ▶ スポーツを核とした地域活性化
  - ・ICTを活用してスポーツ指導者や施設等のスポーツ資源をシェアリングして有効活用するビジネスモデルを構築するための実証研究を行う。

## ■ 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律（地域未来投資促進法）に基づく基本計画

- ▶ 京都府・亀岡市共同で地域経済牽引基本計画を策定、国の同意済（平成29年9月29日）

## ■ 地方創生推進交付金（民間企業が実施予定の地域経済牽引事業（想定））

事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 既存観光資源（保津川下り、トロッコ列車等）のネットワーク強化と周遊サービス事業</li> <li>② 球技聖地化による球技大会開催・合宿地・練習場事業</li> <li>③ 自然を活かしたアウトドアアクティビティの観光サービス事業、天然記念物（アユモドキ）を資源とした環境学習サービス事業</li> <li>④ 大学の健康スポーツ学等の知見やAI、ロボット、小型モーター技術を活用した産官学連携による生涯、障害者スポーツ・健康事業</li> <li>⑤ 京都スタジアムや新市街地の公共空間を活用したイベント開催事業</li> <li>⑥ イベント・観光のIoT化による情報提供・広告事業</li> </ol>	
効果	・新たな観光誘客や観光消費の拡大 入込客数：110万人増、観光消費額：66億円増	